

注目企業

ふくい産業支援センターの事業や施策を活かし、前向きにがんばる県内企業の取り組みをご紹介します



栽培したハーブを原料とした商品の数々。県内企業とのコラボ商品も。

独自技術を活かした国産ハーブ栽培

株式会社キヨカワ

チャレンジ精神をもって 高齢者雇用への展開も

植物工場のクリーンルームで水耕栽培される、『Pure River Herb』。天候に左右されず年間通して安定した生産が可能で、農業を問わず、土や虫が付着しない安心安全なハーブです。

「清川メツキ工業株式会社」の清川忠会長が農林高校の出身で、農業への思いも深く「植物工場を手がけてみたい」という話が出たことがきっかけです」と、清川常務は取り組みの経緯を語ります。

2010年に、小さなブランドでレタス系の野菜やトマト、イチゴなど約30品目を試験的に水耕栽培。光量や養液管理、栽培の期間やポイントなどを習得していくなかで、「担当していた60代の女性従業員があまりに楽しそうに仕

事をしていたので、高齢者や障害者の雇用にも適しているのではと感じるようになりました」と振り返ります。

2014年には、倉庫として使っていた建物に植物工場を竣工します。量産にあたっては、試作した野菜の中からハーブに着目。「国内のどこかの会社もやっていないというところ、ハーブ専門は魅力になる。他の野菜よりもグラム単価が高く、輸送コストに優れているメリットもありました」。

ハーブ栽培に活かした メツキの技とノウハウ

ハーブ栽培には、「清川メツキ工業株式会社の、メツキ技術開発の技術やノウハウが活かされています」と語る清川氏。



液に添加して流しています。当社は、グループ内に走査型電子顕微鏡をはじめ様々な分析装置を完備しているため、養液の化学分析や多角的な安全検査などが容易にでき、安全性の高い純粋なハーブを安定してお届けすることができ

ます。3つ目は、ISO9001、ISO14001の取得実績です。取り扱うものは植物ですが、計画的につくるための品質管理やマネジメントシステムにおいて、これまでに培ったノウハウを活かしています。

そうした高付加価値なハーブづくりへの創意工夫や、高齢者・障害者雇用の取り組みなどが認められ、今年3月『福井市農林水産奨励賞』を受賞するなど、大きな成果を实らせています。

県内企業とコラボした ハーブ加工商品も好調

現在、取り扱うハーブは、スウィートバジル、チャイビル、ディルなど5品目。生ハーブは、東京ステーションホテルのレストランや全国チェーンのファミリ



株式会社キヨカワ
https://www.pureriver.jp
所在地：福井市和田中1丁目414
電話番号：0776-23-2912
代表者：清川忠氏
資本金：1,000万円
従業員数：8名（パート含む）
事業内容：植物工場でのハーブ栽培、加工、販売



高齢者や障害者も積極的に雇用している同社。植物工場の管理や出荷準備などの業務を分担し進めています。

レストランなどで採用されています。国産の乾燥ハーブは希少なもので、「ある程度、価値を認めていただけのものが増えてきた。収穫量を安定させ、さらに付加価値を上げていきたい」と清川氏は意欲をみせます。

近年は、「越前バジル塩」や「バジル生サブレ」な

この事業を活かしました

食品WEBサイト「バイヤーのための福食市」

<http://buyer.fisc.jp>

全国の食品関連バイヤーの方々に仕入れに役立つ福井県の地域産品を提供するサイトとして、県内のこだわり食品情報を公開し、取引マッチングをサポートしています。各種商品ジャンルの検索にも対応し、事業者HPやFacebookページにアクセスできるなど、手軽に多くの情報を提供できます。

掲載申込み

対象商品：自社で開発した商品（食品に限る）

掲載費用：無料

申込期間：随時申込受付中

【お問い合わせ】

（公財）ふくい産業支援センター

販路開拓支援部 販路開拓営業グループ

TEL：0776-67-7400 FAX：0776-67-7419

ど、県内企業とコラボレーションした加工商品を企画・開発。ふくい産業支援センターのサイト『バイヤーのための福食市』でも引き合いがあるほか、大手出版社の土産本に掲載されるなど話題を集めています。「今後も、県や市などと協力して加工商品を増やしていけたら。来年の国産を視野に入れた新商品の開発もしていきたい」とニコリ。

県外販売の拡大に向けては専門家からアドバイスをもらうなど、「いろんな人に協力してもらって、大きく育てていければ」と展望を語ります。「口に入るものなので、衛生管理は徹底しています。品質には自信があるので、たくさんの方に本当のハーブの香りを楽しんでいただきたいですね」。